



2023年2月16日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代表者名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証プライム)
問合せ先
役 職 取締役 CEOオフィスセンター担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

当社子会社による英国企業との iPS細胞作製技術に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社の100%子会社である株式会社IDファーマ（以下、「IDファーマ」という）は、英国を本拠地としてヒトゲノムをはじめとしたゲノムと遺伝子の研究を行う企業（以下、「英国企業」という）と、IDファーマが保有するCytoTune®-iPS（※1）の技術を用いてiPS細胞（※2）を作製し、そのiPS細胞由来の分化細胞等を研究用製品として供給・販売すること等を許諾する契約を、本日、締結しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

IDファーマは英国企業に対して、IDファーマが保有するCytoTune®-iPSの技術を用いてiPS細胞を作製すること、本技術を用いて得られたiPS細胞や分化細胞を内部研究を目的とした販売およびサービス提供に用いることについて、全世界を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これによりIDファーマは英国企業から契約一時金および細胞等の販売額・サービス収入に対するロイヤリティを受け取ります。

2. 契約の意義

英国企業は、ゲノミクス分野において科学的基盤を強化することに取り組んでいます。本契約の締結により、CytoTune®-iPSの技術を用いて作製されたiPS細胞や、そのiPS細胞由来の分化細胞等が英国企業から顧客に提供され、iPS細胞および分化細胞の研究開発が進展することが期待されます。

IDファーマは、本契約のようにCytoTune®-iPSを活用したiPS細胞等の作製とその利用を許諾する契約の締結を推進しており、そのような取り組みにより基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

3. 今後の見通し

本件による2023年3月期の業績への影響は軽微ですが、本契約によりCytoTune®-iPSの技術を用いた新たな事業機会の創出が期待され、中長期的な当社の業績に寄与するものと考えております。

※1. iPS 細胞作製キット CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

※2. iPS 細胞

人工多能性幹細胞 (induced pluripotent stem cell) のことであり、体細胞に特定の遺伝子を導入することにより樹立される、ヒト等のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持つ幹細胞のことです。

以 上